

丸亀であらまじょー

機械より人の温かさが好き

高校時代は電子科でコンピューターばかり学んでいました。しかし、機械相手の仕事より、自分には人とかわる仕事のほうが向いているように思い、担任の先生に「医療や福祉に携わる仕事がしたい」と相談してみました。先生から看護師の職種を紹介され、その後、病院で働きながら資格を取得しました。

病院に勤務しだしたころは、女性ばかりの職場であることを実感しましたが、看護師のプロ意識、力強さを知ってからは、男女の差など考えることもなくなりました。世間一般ではまだまだ「看護師＝女性」という認識が強く、女性の患者は、プライバシーや羞恥心などの理由から男性看護師に戸惑うこともあるようです。

現在、当院には5名の男性看護師がいて、徐々に増えてきています。これからは、男女共同で医療、看護に努めていきたいと思っています。



林 周児さん
(香川労災病院 看護師)

Information

お城まつり期間中の「ゆめの部屋」

今年もお城まつり期間中、生涯学習センター5階ゆめの部屋をオープンします。

問い合わせ先 ● ゆめネットワーク事務局

市秘書課男女共同参画室(TEL24-8800)

● ジェンダー・フリー展

各グループの活動を紹介する展示のほか、本の展示、貸し出しなども行います。

と き ● 5月15日出、16日回 ● 9:00~16:00

● ビデオ上映&トーク

と き ● 5月15日出、16日回 ● 10:00~12:00

● ワークショップ

地域に住む人みんながかかわる子育て支援について、一緒に考えませんか。

と き ● 5月15日出 ● 13:30~15:30

● 絵本の読み聞かせ

子どもたち、集まれ。楽しい絵本が待っているよ。

と き ● 5月16日回 ● 13:00~14:00

ほかにもあります、お城まつり期間中

● 明るいみんなの生活展

と き ● 5月15日出 ● 9:00~17:00

16日回 ● 9:00~16:00

ところ ● 生涯学習センター3階

テーマ ● できますか? 「家庭でできる省エネ対策」

問い合わせ先 ● 丸亀市消費者モニター

山本 (TEL25-1715)

● 自衛隊のイラク派兵中止、国連によるイラク復興支援を求める署名活動

と き ● 5月15日出 ● 13:30~15:00

※雨天の場合は、16日回の同時

ところ ● 丸亀城みその橋のたもと

問い合わせ先 ● 新日本婦人の会丸亀支部

近石 (TEL24-1825)

図書 の紹介

「気持ちの本」

■ 森田ゆり / 作

たくさん子どもたち / 絵

童話館出版 2003年7月発行

うれしい気持ちや悲しい気持ち、

いろいろあるけれど、どうしたら

うまく伝えられるのでしょうか。

(生涯学習センター5階ゆめにあります)



編集後記

どうしても「自由の女神」が見たくてニューヨークへ行った。彼女の高く掲げられた右手は、とてつもなく太く、力強かった。中に入ってマンハッタンを眺めたかったが、「WTC(世界貿易センタービル)9.11」から入れなくなっていた。一日も早く、「自由の女神」の中から、マンハッタンを眺める日が来ますように! (A)



You ゆめ Me

第9号

DV ゆめネットワーク講演会を開催 ドメスティック・バイオレンス 愛が暴力に変わるとき

11月24日、森田ゆりさん(エンパワメント・センター 主宰)を講師に招いて、講演会「ドメスティック・バイオレンス 愛が暴力に変わるとき」を開催しました。市内はもちろんのこと、県内外からも参加者があり、会場は200人を超える熱気に包まれました。



DVにおける3つの柱

ドメスティック・バイオレンス(DV)とは、配偶者や恋人など、親密な関係にある者からの暴力のことです。講演では、例をたくさん挙げながら、DVを「公衆衛生」「ジェンダー」「エンパワメント」の3つの角度から話しました。

《公衆衛生》

「250万人の人が『死ぬかもしれない』と恐怖を感じ、3日に一人の人が実際に死んでいく伝染病のようなものだったら、国も早急に手を打つでしょう。しかし、現にDVがそんな状況なのに、国の対策は非常に不十分です。1,650億円もイラク戦争に提供するのなら、その予算をDV対策にこそ回すべきです」。

伝染病と同じように、DVの問題は、被害者の心身に与える影響を考えなければならない点、もう一つは、公衆への予防教育の徹底によって、その数を減らすことができるという点から、公衆衛生の問題ととらえることができます。

《ジェンダー》

森田さんは、「女と牛馬はたたいて使え」という古い言葉を例に出し、「夫が妻に暴力を振るうことを周りの環境が許している」と言います。「夫が妻を少し



▲参加者の意見を聞き出しながら話を進める森田さん(右)

ジェンダー ● 社会的、文化的に形成された性別のこと。「男は泣くもんじゃない」「女はおとなしく控えめがよい」などのように、通念を基礎にした男女の区別。

ジェンダー・フリー ● 気づかぬうちに私たちに縛りつけているジェンダーから自由になること。「男とは/女とはこういうものだ」と決めつけしないで、人間として、自分らしく生きるためのキーワードです。